

純心女子高校と議員との意見交換会 概要

○参加者 議員：饗庭敦子議員、大倉聡議員 生徒：2年生 9名

○発表テーマ：高齢者の移動手段を考える

○意見交換会要旨

(大倉聡議員)

本日の発表、大変お疲れ様でした。資料の枚数には本当に驚きました。今回の参加校の中で一番多かったですよね。これを時間内に発表できたのは素晴らしかったです。さまざまな調査を行い、しっかり練習されたのだと感じました。本当に良かったです。

(饗庭敦子議員)

やはり免許が返納できて、返納した人が困らない社会っていうところが、大変興味深いなど思いながら聞いていました。その中で、「エルダリーシティ」という言葉を初めて聞いて、そのあたりのお話も今回の意見交換で聞かせていただければと思います。

(大倉聡議員)

皆さんの年代では、おじいちゃんやおばあちゃんが高齢者世代だと思うんですけど、今回の発表にもあった免許の自主返納問題について、家族内で話し合いとか、そういった経験をしたことはありますか。

(生徒)

私は実際に、祖母の免許返納について、親戚も集まって話し合いをした経験があります。

祖母の車への執着もすごくて、両親や親戚も悩んでいました。最終的に、説得して免許を返納したんですが、無理やりじゃなくて、自分で返したいと思える世の中になってほしいと思います。

(大倉聡議員)

まさにそこですよ。返納して良かったと本人が思えるかどうかってところ。そこが、本当に難しいところだと思います。皆さん、スタートは自主返納した方がいいよねっていうところから始まったけれども、実際にタクシー会社に行って調べてみると、高齢者の運転手も多くて、高齢者の運転＝危険とは言い難いと認識が変わったんだよね。その気づきがすごく大切なところだと思います。タクシー会社にどうして調査しようと思ったんですか。

(生徒)

もともと、バスや電車などの公共交通機関について調べており、その中で高齢者が利用する際の特典についても調査していました。その過程で、バスや電車以外にもタクシーにおいて高齢者への金銭的な支援があることを知り、タクシー会社に話を伺ったところ、今回の気づきにつながりました。

(大倉聡議員)

本来聞きたかった目的とは異なる回答が返ってきたときに、「こちらの方が重要ではないか」と気づけたということですよ。それは本当に素晴らしいことだと思います。皆さんが柔軟な発想を持てた点が、最も良かったところだと感じました。

(饗庭敦子議員)

ミニバスのお助け隊がすごくいいなと思いました。ただ、発表の中で「長崎バスとリモート会議をしたが、実現は難しそうだった」という話がありました。お助け隊として関わることで、バス会社の負担軽減や高齢者支援につながるとは思いますが、実現が難しい理由や課題があれば教えていただきたいです。

(生徒)

具体的にどこが難しいかはお聞きできませんでしたが、学生のボランティアがミニバスに乗り、高齢者の荷物を持つなど、支援することは可能だと思います。ただ、その際には運転手との連携も必要になるため、人件費などの面が関係しているのではないかと感じました。

(饗庭敦子議員)

すごく良い取り組みだと思うので、ぜひ進めていただければと思います。

(大倉聡議員)

何か議員に対して、他に聞きたいことがあれば、可能な範囲でお答えしたいと思います。

(生徒)

どんな社会にして行きたいのかお聞きしたいです。

(大倉聡議員)

長崎が抱える問題は本当に多いですが、その中でも最も大きな課題は人口減少だと思います。加えて、若者の流出も深刻です。私は、若者が一度県外に出ること自体は良いと考えていますが、将来的には長崎に戻ってきてほしいと思っています。しかし、仕事があれば帰ることは難しいため、雇用の場を確保し、若者が「帰りたい」と思えるような魅力あるまちづくりを進めたいと、常々考えています。

(饗庭敦子議員)

私はメンタルヘルス対策に取り組んでいますので、自殺者をゼロにしたいという強い思いがあります。そのためには、働きやすい職場環境の整備が重要だと考えています。最近は離職率も非常に高く、多くの方が職場を離れている現状があります。こうした状況を踏まえ、働きやすい環境を整え、メンタル不調者が一人もいない、そして自殺者が出ない社会を実現することが私の願いです。

(生徒)

自分たちが何かをやりたいと思ったときに、自分の考えを他人に伝えても、うまく伝わらず、思いが届かないことがあるのですが、人に伝えるために大切にしていることがあれば、教えていただきたいです。

(大倉聡議員)

私は現場の声です。現場がやっていることに勝るものはないので。インターネットで調べれば現状とかも分かるけど、現場の声には絶対に勝てないと考えています。

(饗庭敦子議員)

ご自身の中で、何を一番伝えたいのかポイントを絞ることが大切だと思います。加えて、具体的な根拠を示すことも必ず必要だと思います。